



STOP THE 格差社会! 全道キャンペーン通信

NO.23 2014.4.11 発行責任者 連合北海道組織労働局

全道キャンペーン第2弾！パルコ前街頭宣伝で再始動

連合北海道は、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」全道キャンペーンとして、道民世論の喚起と社会的うねりを巻き起こす運動を展開してきたが、労働者保護ルールが改悪される恐れが強まっている。働く者を使い捨てにする、いわゆる「ブラック企業」が社会問題化しており、それを助長するような労働者保護ルールの改悪を許すわけにはいかない。引き続き全国の仲間とともに全道キャンペーン第2弾を再開した。

キャンペーン第2弾の皮切りとして、4月9日(水)12:00～12:45 札幌市中央区のパルコ前にて、組合員 35 名と共に、街頭宣伝行動を実施した。最初に連合北海道の工藤会長から、労働者保護ルールの改悪ともいえる、ホワイトカラーイグゼンプション制度は、残業代ゼロ制度とも呼ばれている経営者に都合の良い制度であり、労働者にとっては何時間働いても残業代が支払われない恐れがあることを訴えた。



連合北海道 工藤会長

また、連合北海道 出村事務局長からは、労働者派遣法改正について、『派遣労働者が抱える“雇用の不安定”と“低賃金”という実態には目をつぶり、「派遣労働は臨時的・一時的なもの」との考え方を見直して、生涯、低処遇のまま派遣労働を続けさせる環境を整備しようとしていること』を指摘し、世界一ビジネスのしやすい国というのは、労働者にとってはますます労働条件が悪化することになると訴えた。



連合北海道 出村事務局長

最後に連合北海道渡辺副事務局長から、労働者保護ルールの改悪が国の審議会で検討されている今こそ、全国で反対の声を上げ、断固阻止を目指して今後も活動していくことが重要であると訴えた。



次回は、4月15日(火)12:00～12:45、紀伊國屋書店前で街頭宣伝行動を行います。

開催予告

「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第2弾
全国統一行動 5.27 全道総決起集会

5月27日(火)18:10～18:50 共済ホール(札幌 中央区北4西1)
18:50～19:40 デモ行進(共済ホール → 狸小路4丁目)